

サボテンの花 (1969)

CACTUS FLOWER

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

時間 103分

初公開日 1969/12/20

公開情報 COL

【解説】

独身主義のプレイボーイ・ジュリアンは、結婚していると嘘をついて、トニーという女性とつき合っていたが、トニーの自殺騒ぎから真剣に彼女との結婚を考えるようになる。そこでジュリアンは、美人だが男からは“軍曹”とからかわれる、生真面目なオールドミスの看護婦、ステファニーを自分の妻ということにして、トニーを説得してもらおうとする。身勝手な男とわがままな娘の為に、己の気持ちを殺して、ステファニーは二人を結び付けようとするが……。自分が傷つくのを恐れ、事務的な態度で男に接してきたステファニーが、生き生きとした女性に変身していく演出が素晴らしい。思いやりではなく“自分の良心”のために行動する女性、トニーを演じて、G・ホーンがオスカーを受賞した。ラスト、キスされたステファニーの、いかにも彼女なら言いそうな台詞に注目。

【クレジット】

| | | | |
|----|----------------|--------------------|-----------------|
| 監督 | ジーン・サックス | Gene Saks | |
| 製作 | マイク・J・フランコヴィッチ | Mike J. Frankovich | |
| 脚本 | I・A・L・ダイヤモンド | I.A.L. Diamond | |
| 撮影 | チャールズ・ラング・Jr | Charles Lang Jr. | |
| 編集 | モーリー・ワイントローブ | Maury Winetrobe | |
| 音楽 | クインシー・ジョーンズ | Quincy Jones | |
| 出演 | ウォルター・マッソー | Walter Matthau | ジュリアン・ウィンストン |
| | イングリッド・バーグマン | Ingrid Bergman | ステファニー・ディキンソン |
| | ゴールドディ・ホーン | Goldie Hawn | トニ・シモンズ |
| | ジャック・ウェストン | Jack Weston | ハーヴェイ・グリーンフィールド |
| | リック・レンツ | Rick Lenz | イゴール・サリヴァン |
| | ヴィトー・スコッティ | Vito Scotti | |
| | アイリーン・ハーヴェイ | Irene Hervey | |